

一期一会

生徒会長の1年間を振り返って

四街道市立四街道西中学校
生徒会長 飯島 凜煌

生徒会長になり、はや一年が経ちました。正直な話「やっと終わるのか」とほっとしている自分がいます。私自身人前に立つのが苦手で、集会の時はいつも心臓がバクバクと鳴り、何年寿命が縮んだのかが気になるところです。それでも達成感は大いに感じています。

私は「時代に合った学校づくり」というものを目標に日々勤しんできました。目標を達成するにあたって行ったことを2つに分けて話そうと思います。

1つ目は校則の改正です。私は中学に入った時から校則に疑問を感じていました。男子のツーブロック禁止や靴下のワンポイントなど、どれも生活に何ら関係のないものばかりで、なぜそれを禁止しているのかわかりませんでした。理由も無しに校則だからと自由を奪うのは古い考えです。古い考えは、新しい学校に変えていく上で一番の障害だったので、まず校則の改正に向けて取り組みました。

2つ目は意見箱の設置です。意見箱は、直接言葉で意見を伝える必要がないため、誰であっても簡単に自分の考えを伝えられます。生徒会だけでは思いつかない考えも多く、多様性を取り入れるという面において、意見箱はとても役立っています。私はもう任期を終えますが、今後たくさんさんの意見が寄せられれば良いなと思います。

新しい学校を目指すうえで、四西らしさを大切にすべきだと考えています。四西生は、とても協力のできる人たちだと思います。誰かが困っていたら進んで声をかけられる温かい生徒が多いです。つい先日体育祭が行われました。三年生のムカデ競争では、最後尾のクラスに、3年生全員が集まり、並走して、応援をしていました。それを見て、とても心が温かくなりました。

その一方、授業と休み時間のメリハリがないこと、廊下での過ごし方、黙働清掃に課題がありました。メリハリについては呼びかけを強化し、廊下での過ごし方については、廊下に目印を貼り、廊下の混雑を避け、安全に通れるようにしました。黙働清掃については、美化委員会と連携して、放送で清掃の様子を全校生徒に伝え、黙働清掃を強化しました。その結果、今まで意識してこなかった人たちも意識して学校生活を送るようになり、それぞれの課題となっていたことが改善の方向に向かってきています。

私が生徒会長になって得たことはたくさんあります。人前に立って話す自信を得られたこと、そして全体のことに目を向けられるようになったことなどです。前に立って話す機会がたくさんあり、はじめは不安な気持ちがありましたが、次第に不安が自信へと変わっていきました。また、クラスや学年、学校全体の良いところや課題点を見つけられるようになり視野が広がりました。

生徒会長として一年間務めさせていただきました。初めての経験で至らないことがたくさんあったと思います。それでも今までやることのできたのは、四西生や先生方などみなさんのおかげです。協力をしてくれたみなさんへの最大の感謝と、四街道西中学校のますますの発展を祈りここに筆をおかせていただきます。

当センターでは子どもと保護者の悩み相談を受け付けています

四街道市青少年育成センター (月)~(金) 9:00-17:00

相談専用電話 043-423-0066 フリーダイヤル 0120-423-006

青少年育成センターへは市役所第二庁舎からも裏側通用口を利用して入ることもできます

四街道市「いじめ撲滅キャンペーン」 11月11日（土）～12月10日（日）

STOP いじめ

～いじめを絶対に許さない～

四街道市では、教育委員会が推進している「命の教育」の一環として、12月10日の世界人権デーに合わせて、市内すべての小中学校において「いじめ撲滅キャンペーン」を実施します。いじめは、決して許される行為ではありません。このキャンペーン期間中に、学校や家庭で、「いじめ撲滅」に向け、自分たちができることを話し合い、行動を起こしてください。

家庭でのいじめ根絶の取り組み

- ① いじめは絶対に許されないことをていねいに教えましょう。
- ② いじめは人権の侵害であることを教え、命を大切にすることや思いやりの心を育てましょう。
- ③ 子どもの小さなサインを見逃さないようにする。子どもの話にじっくり耳を傾けましょう。
- ④ 「ネット上のいじめ」から子どもたちを守るため、携帯電話等を利用するルールを作り、フィルタリングをかけましょう。
- ⑤ 学校や相談機関に相談しましょう。
- ⑥ 日頃から、大人同士（家庭と、地域と、学校と）の協力関係を築きましょう。

（四街道市教育委員会「いじめ根絶に向けた家庭向けリーフレットより」）

先日四街道警察署から、市内において自転車盗が多く発生しているとの情報提供がありました。

被害場所の約7割が、四街道駅及び物井駅周辺の駐輪場、大型店舗の駐輪場となっています。

また、盗難自転車の約7割が無施錠であることから、四街道警察署では、被害が多発している駐輪場に定期的に赴き、無施錠の自転車にステッカーを貼付し、施錠を促しているそうです。

青少年育成センターでも街頭補導の際には、駐輪場を確認し、施錠を呼びかけるなど、自転車盗を無くすよう働きかけていきたいと思えます。

○10月の相談活動 [68件]

電話	27	来所	27	訪問等	14
----	----	----	----	-----	----

○10月の不審者情報 不審者情報はありませんでした。

○12月の街頭補導予定（14回）

1日（金）D	4日（月）A	5日（火）C	7日（木）D	8日（金）B	11日（月）C	12日（火）E
14日（木）D	15日（金）C	18日（月）E	19日（火）D	20日（水）B	21日（木）E	22日（金）C

A 7:30-8:30 B 10:00-11:00 C 14:30 - 15:30 D 16:30-17:30 E 17:30-18:30

警告 あなたの自転車が狙われています!

鍵を掛けないのは「盗難の入り口」からダメ

すぐ戻って言ったって、鍵くらい掛けてよ

お金を入れれば、誰でも持って行けるよ

「100円ハッキリ」に入れたから鍵は掛けないのはダメ

盗まれた自転車の半数以上は無施錠です!

「自宅敷地内なら大丈夫」はダメ

自分の家だからって... 鍵を掛けて欲しい

もう一個、鍵をつけて欲しかった

「鍵は掛けたーでも盗まれたー」ってこともある。2ロツツで盗難防止!

「きみの帰りを待っていたのに」と自転車が泣いています

千葉県・千葉県警察